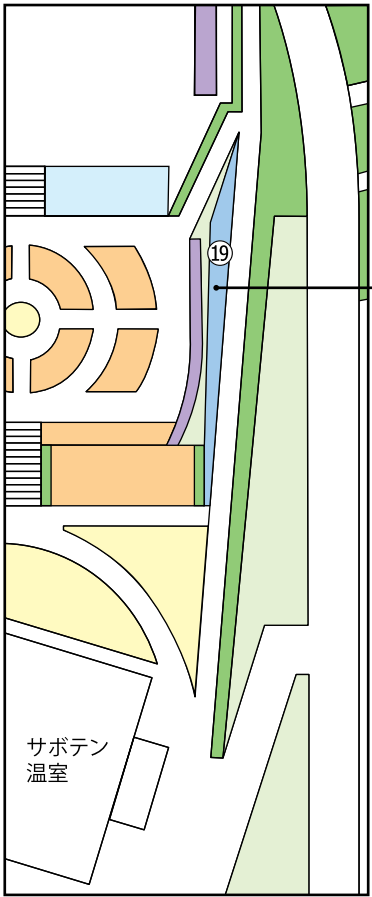




サボテン
温室

バラの歴史コーナーについて

About the Historic Roses Street

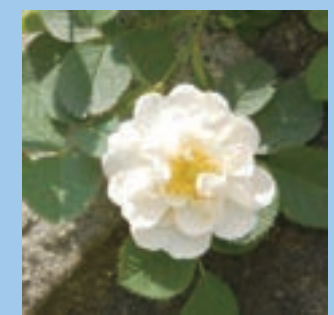
当園の「バラの歴史コーナー」では、バラの主要な系統の中から重要性の高い品種を選び、歴史上古いものから新しいものまで、順番に並べて展示しています。

バラの辿ってきた歴史をご覧いただくことで、バラと人類との関わりをより深く知ることができるでしょう。

On Historic Roses Street, you can see important roses from different classes, displayed in the order they appeared throughout history, from the oldest varieties to the newest. By exploring the changes in these roses over time, you can discover how roses have been related to our lives and cultures worldwide.

Historic Roses バラの歴史コーナー

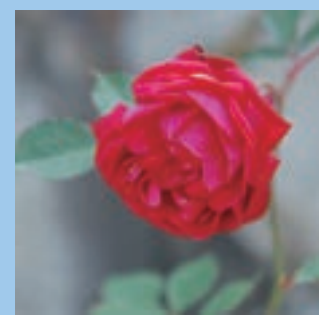
野生のバラからモダンローズに至るまで、知られざるバラの作出の歴史をたどれるように工夫して植栽しています。



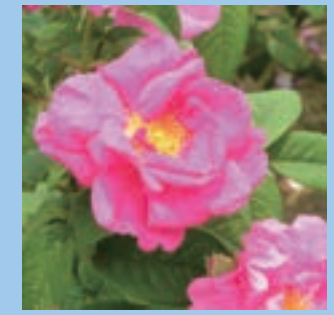
アルバ・セミプレナ A
Alba Semi-plena
絵画「ヴィーナスの誕生」に描かれたとされるバラ。



ブラータ C
Bullata
ケンティフォリアの中でもしわの入った葉が特徴的なバラ。



センパフローレンス Ch
Semperflorens
四季咲き性と赤花の遺伝子を現代のバラに伝えたと言われるバラ。



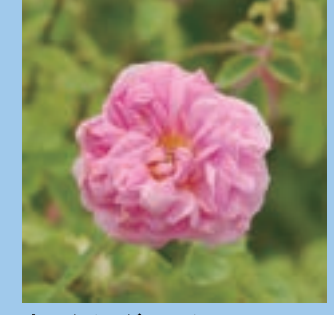
ロサ・ガリカ・オフィキナリス G
R. galice 'Officinalis'
最も古くから栽培されていたとされるバラ。



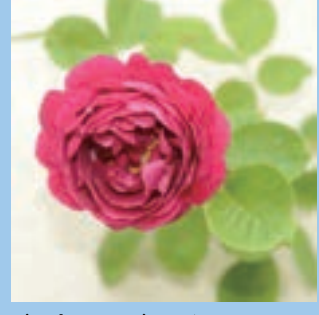
ロサ・キネンシス・ミニマ Ch
R. chinensis 'Minima'
ミニバラの祖先とされるバラ。



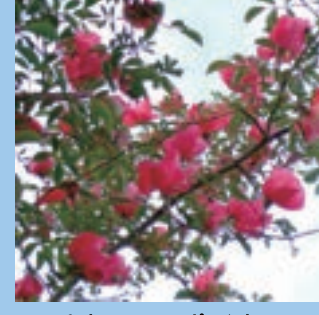
オールド・ブラッシュ Ch
Old Blush
四季咲きバラの祖先とされるバラ。



オータム・ダマスク D
Autumn Damask
紀元前から香水代わりに利用されていたバラ。秋にも返り咲く。



ジェネラル・ジャックミノ HP
Général Jacqueminot
モダンローズに赤い色の花色を伝えたバラ。



ロサ・キネンシス・スポンタネア Sp
R. chinensis spontanea
コウシンバラの基となったとされる原種。1983年に日本人が再発見した幻のバラ。

ロサ・ケンティフォリア Rosa centifolia

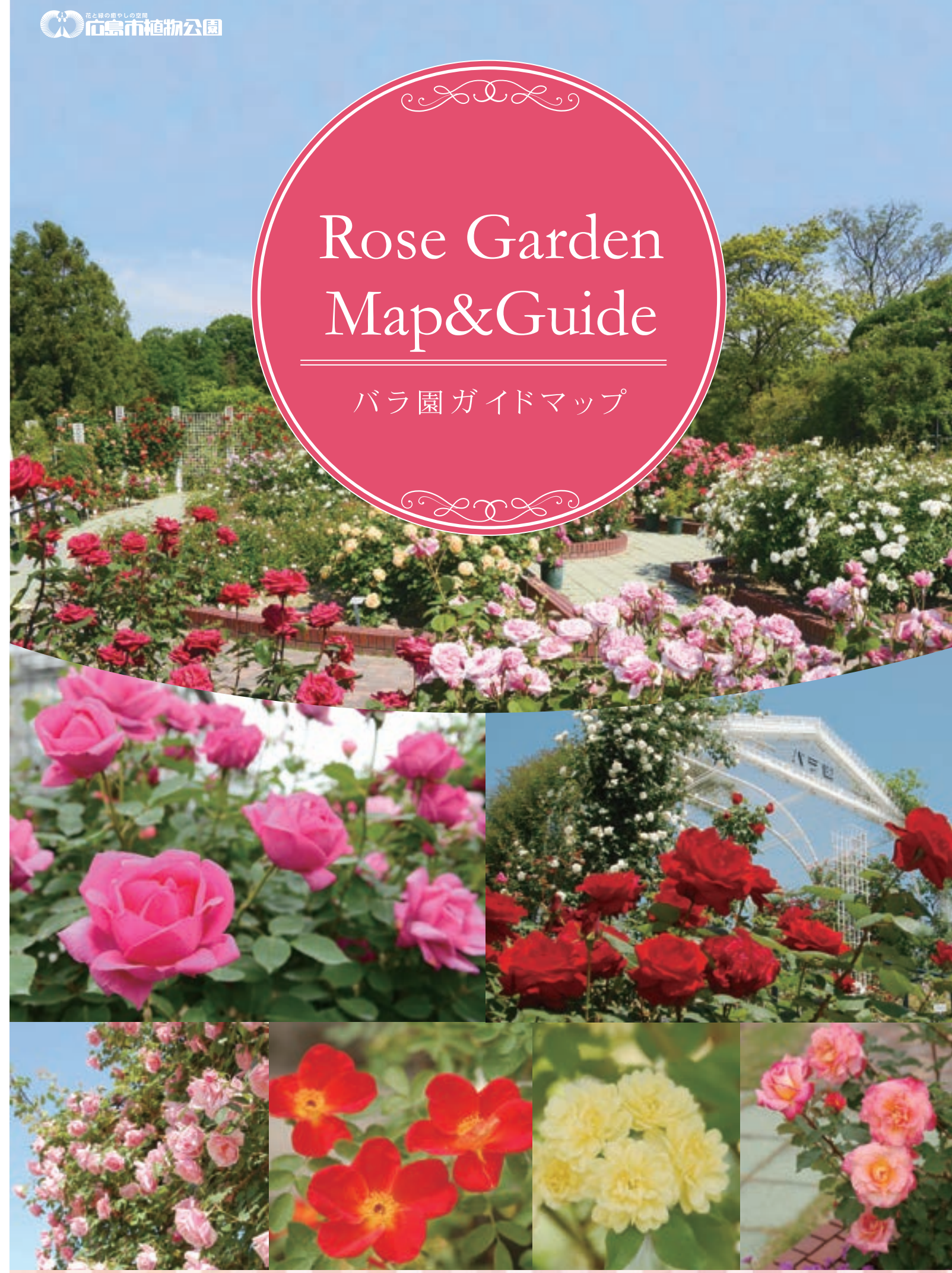
ケンティフォリアとは100枚の葉（花弁）という意味で、その名の通り非常に多くの花弁を持った系統です。

マリーアントワネットの肖像画に描かれたバラもケンティフォリア系のバラです。バラの宮廷画家として有名なルドゥーテもこのバラを描いています。



Rose Garden Map&Guide

バラ園ガイドマップ



Wild Roses 野生のバラ

原種や原種系交雑品種を植栽しています。



ロサ・オメイエンシス *R.omeiensis* Sp
中国原産で4枚の花弁と大きくて立派なトゲが特徴の野生種。



ハマナス(ハマナシ) *R.rugosa* Sp
日本にも自生している、海岸など砂地に生育する野生種。



ツクシイバラ *R.multiflora* var. *adenocheta* Sp
花弁がうすいピンク色となるノイバラの変種で九州(筑紫)に産する野生種。

Roses associated with Hiroshima 広島にちなんだバラ

広島市に寄贈されたバラや平和や広島にゆかりのあるバラを植栽しています。



レッド・ラジアンス *Red Radiance* HT
長崎で自らも被爆し、原爆被災者の治療に当たった永井隆博士の邸宅にあったバラ。



アイキャン *ICAN* F
核兵器廃絶を願ってノーベル平和賞を受賞した同名の団体から名づけられたバラ。



ドクタートウミン *Dr.Tomin* HT
被爆者のケロイド治療等に尽力した原田東岷博士の名前を冠したバラ。

Scented Roses 香りのバラ

香りに特徴のあるバラを植栽しています。



カザンリク *Kazanlik* D
強いダマスク香があり、香料の原料として古くから用いられてきたバラ。



ブルームーン *Blue Moon* HT
ブルーローズ特有のさわやかな香りを持つバラ。



レディヒリンドン *Lady Hillingdon* T
金華山と呼ばれて古くから親しまれてきたティーローズ。

主なモダンローズの系統

■ハイブリッド・ティー (HT)
完全四季咲き性で大輪花。多花性でティーの香りがある。
モダンローズの代表的な系統。

■フロリバンダ (F)
完全四季咲き性で房咲き中輪花。多花性で現代のバラ園には欠かせない系統。

■ポリアンサ (Pol)
四季咲き性で小輪花。多花性でフロリバンダ系品種の成立に関わった重要な品種。

主なオールドローズの系統

■モス (M)
ロサ・ケンティフォリアから突然変異により生じた系統とされており、蕾が苔状の腺毛で覆われている。

■ケンティフォリア (C)
ヨーロッパで生まれた交配バラ。キャベツの葉のように花弁が多く、丸弁のカップ咲き。

■チャイナ (Ch)
中国原産のコウシンバラに起源を持つバラ。四季咲き性・剣弁。

■ブルボン (B)
インド洋ブルボン島(レユニオン島)由来の欧州・東洋系混血バラ。返り咲きしやすい。

■ガリカ (G)
ヨーロッパに古くからあった系統で、薬用・香料用として利用されていた。

■ティー (T)
中国原産のロサ・ギガンテアに由来するティーの香りを持つ系統。

■ノワゼット (N)
アメリカで育成された欧州・東洋系混血バラ。返り咲きしやすい。

■ポートランド (P)
イギリスのポートランド伯爵夫人が発見したと言われる系統。連続開花性があり花首が長い。

■アルバ (A)
ヨーロッパの寒冷地に適応した系統。白～淡ピンク系の花色が多く。灰白色の葉。

■ハイブリッド・パーペチュアル (HP)
大輪・返り咲きで、ハイブリッド・ティー系が出現する前の代表的系統。

■ダマスク (D)
中東からヨーロッパにもたらされたバラ。ブルガリアで香料用に生産されている。

■野生種 (Sp)

初期のモダンローズ(現代バラ・主に戦前)
①・②・③・④:HT系 ⑦:Pol系
モダンローズ(現代バラ・主に戦後)
⑤:F系 ⑥:HT系 ⑩・⑪:HT系、F系
⑭:香りのバラ ⑰:日本で作出されたバラ

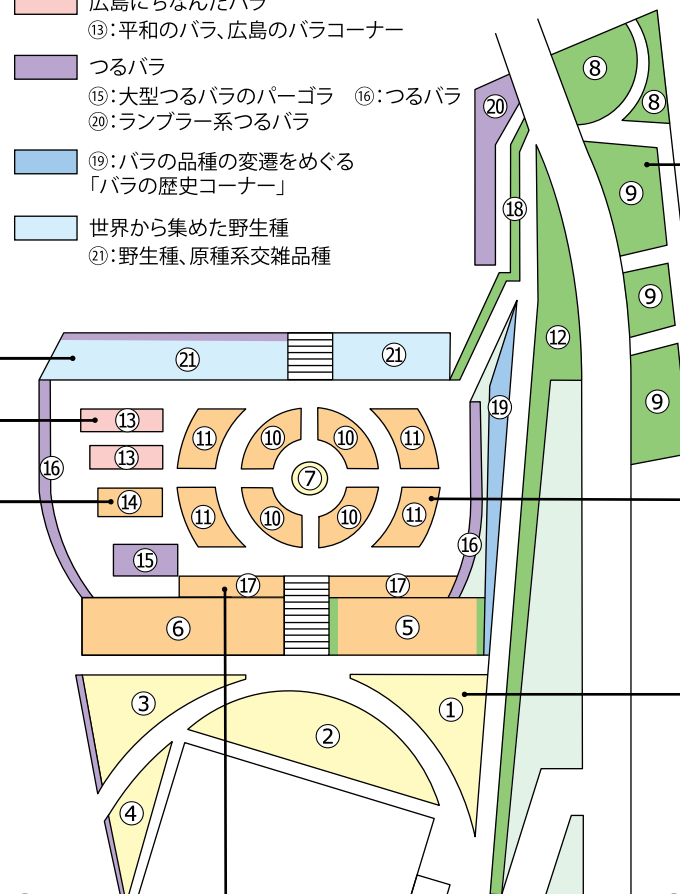
オールドローズ(古花)
⑧:M系・C系 ⑨:Ch系・B系・G系・T系・D系
⑫:T系・N系・P系・A系 ⑬:HP系

広島にちなんだバラ
⑬:平和のバラ、広島のパラコーナー

つるバラ
⑮:大型つるバラのパーゴラ ⑯:つるバラ
⑳:ランブラー系つるバラ

⑱:バラの品種の変遷をめぐる「バラの歴史コーナー」

世界から集めた野生種
㉑:野生種、原種系交雑品種



Precious Roses 貴重なバラ

日本最初のバラ育種家で、海軍大佐でもあった有沢四十九郎の作。日本のバラの歴史上重要な品種だが、2007年時点では全国でも当園にしか保存されていなかった重要な品種です。



長良 *Nagara*

HT



雲取 *Kumatori*

HT

Old Roses オールドローズ

現代バラが誕生する以前から栽培されている品種を植栽しています。



ファンタン・ラトゥール *Fantin Latour* C
フランスで活躍した画家、アンリ・ファンタン＝ラトゥールにちなむバラ。



ヴァリエガータ・ディ・ボロニア *Variegata di Bologna* B
白地に濃いピンクのストライプが美しいバラ。



ベル・ドゥ・クレシー *Belle de Crecy* G
花名は「美しいクレシー」。ルイ15世の愛妾ボンパドゥール夫人の邸宅の一つ、クレシーの館に咲いていたといわれるバラ。

Early Modern Roses 初期のモダンローズ

1867年から1945年くらいまでに作出された、初期のモダンローズを植栽しています。



クリムソン・グローリー *Crimson Glory* HT
戦前の黒赤バラの名花。



ラ・フランス *La France* HT
モダンローズ第1号品種。



オフелиア *Ophelia* HT
高芯剣弁咲きを確立した名花。

Modern Roses モダンローズ

1945年以降に作出されたモダンローズを植栽しています。



アイスバーグ *Iceberg* F
白花の名花で丈夫で育てやすい優良種。殿堂入りのバラ。



ジャストジョーイ *Just Joey* HT
波打つオレンジの花弁が魅力的。殿堂入りのバラ。



パパ・メイアン *Papa Meiland* HT
黒バラの代表品種。殿堂入りのバラ。